

八丁堀の東京建設会館が移転



建設業界の主要全国団体などが入居する東京・八丁堀の東京建設会館が、老朽化に伴い60余年の歴史に幕を下ろし、新拠点への移転が本格化する。移転先は、ほど近くにある現「T-FIT HATCHOBORI」で、「東京建設会館」の名称を継承する一写真。新会館の住所は、東京都中央区八丁堀2-8-5。

現会館の入居テナントが8、9月にかけて順次引越す。新会館の6階に入る

全国建設業協会は、8月4日から業務を開始する。同じフロアの建設マニフェスト販売センター、建設労務安全研究会も同様のタイミングとなる。

日本建設業連合会は、5階に本部と関東支部の執務室をかまえ、4階を会議室として使う。業務開始は8月18日から。

8月中は、9階に入る東京建設会館会社事務部が5日、8階に入る東日本建設業保証営業部が12日に業務を始める。9月に入ると、東京建設業協会、東京土木施工管理技士会、建退共東京都支部が2日から3階で業務を開始。2階に入居する全国建設業協同組合連合会、建設業労働災害防止協会東京支部は16日に開所する。2階には建設工業経営研究会も入る。

全建は8月4日、日建連は18日から業務開始

このほか、7階は東京都土木建築健康保険組合、1階は共用スペースとなる。

現会館に入居していた日本道路建設業協会の本部と関東支部、日本アスファルト合材協会、東京アスファルト合材協会は7月22日に、近くのユニデン八丁堀ビル(9月から八丁堀トーセイⅢに名称変更)8階へ移る。住所は八丁堀2-12-7。